



若き心

集まるどころ

1月 (NO11)

茅ヶ崎市立鶴が台中学校校長 山口 茂

令和4年1月7日

あけましておめでとうございます

令和4年がスタートしました。年が改まると“今年の目標”なんて考えますよね。そこで、今回は目標を達成する秘訣を教えます。

『ゆっくり行く者は健やかに行く。健やかに行く者は遠くまで行く。』です。

この言葉に出会ったきっかけは覚えていません。しかし、この言葉を知ってから、担任をしていた学級にこの言葉を必ず貼っていました。

例えば、箱根駅伝。今年は青山学院大学が優勝しましたね。駅伝競走で、自分にタスキが渡されたとき、少し前にライバルチームがいたとします。前のチームに追いつきたい一心で予定のペースよりも速いスピードで追いかけたとします。前のチームに追いつくことはできるかもしれませんが、前半の無理がたたリ最後まで体力が持たず、気が付いたらタスキをもらった時よりタイム差が開いていたりすることがあります。

賢いランナーは、前を走るライバルチームのランナーの走力を計算し自分の持っている力と比較して十分追いつくことができそうなら、タスキをもらった後、予定していたペースで走り、次の中継所までに抜かすことを考えます。

例えば登山には「常歩無限」という言葉があるそうです。

登山の初心者、登りはじめの斜面が緩やかなところで、急ぎ足で歩いたり小走りで登ったりしてしまうことがあります。そうすると、前半のオーバーペースがたたリ、山頂近くの急な斜面を登りきることができなくなってしまうことがあるそうです。

反対に、何度も登山を経験したことがある人は、自分の体力をよく知っていて、初めからゆっくりゆっくり一歩ずつ登っていくのだそうです。

いつもと同じ歩みをしていれば、どんな遠くにだって行けるし、どんな高い山の頂にもたどりつくことができる。「常歩無限」はそんな意味なのだそうです。

新しい年になり、“今年はこのこと頑張ろう”と目標をたてた人も多いと思います。その目標を達成するために、一気にスタートダッシュするのではなく、自分のペースで、ゆっくり一歩一歩前進してみてもいいかながですか。

2年生の野外活動が行われました

12月23日(木)に延期になっていた2年生の「野外活動」が行われました。当日は8:30に学校に集合し、JAの前まで移動しバスに乗り込みました。

愛川ふれあいの村につき、午前中に「ミニ運動会」を行いました。鶴が台中学校の校庭よりも大きなグラウンドで、クラスとクラスのプライドを賭けた熱い戦いが繰り広げられました。

プログラム1 「障害物リレー」

○第1種目：ピンポン玉運び

オタマやスプーンにピンポン玉をのせて運びます。この種目、通常体育館など室内で行われる

ものなのですが、今回は横風の吹く屋外での挑戦です。走ることに集中しすぎてピンポン玉を落とす選手やあと少しでバトンパスというところで強風に翻弄され思うように次の選手にリレーできない選手が続出しました。

○第2種目：くじ引き走り

走者はスタートする前にくじを引きます。そこには「スキップ」「金ちゃん走り」「10回グルグル」「ウサギジャンプ」など走り方が指定されています。なかには「先生とじゃんけん」などもあり、先生に勝てるまで進めないのが大逆転も可能です。

○第3種目：フラフープ

フラフープを10回連続で回すことができればクリアです。しかし、10回できなければ、走る距離が倍以上に延ばされます。思わぬ人がフラフープが上手だったり、フラフープが全くできなくて長距離走らされる人が出たり番狂わせが続出しました。

「ピンポン玉」→「くじ引き」→「フラフープ」→「ピンポン玉」…と3種目を順番にリレーしていき、どこのクラスが1番になるか競いました。10回グルグルで目をまわしてしまい、思うように走ることができず順位を下げるクラスもあり、あっさりフラフープを回して前のクラスとの差を縮めたクラスもありました。結果は、2組が優勝でした。

プログラム2 「大縄跳び」

「大縄跳び」といっても全員で一斉に跳ぶのではなくて、回っている縄に1人ずつ走り込み1回ジャンプして縄から外れるという方の大縄跳びです。苦手な生徒もいるので、各クラス何名かは縄を飛ばずに素通りでOKというスペシャルルール付きでした。15分間の練習タイムに誰がジャンプで誰が素通りにするか各クラス綿密に作戦をたてていました。

3分間の合計の回数で勝敗が決定するので、失敗してしまっても素早く再スタートできれば挽回可能です。結果は、合計216回跳んだ3組が優勝しました。

プログラム3 「綱引き」

運動会で使用する太くて重い“綱”を、わざわざ学校から運んでクラス対抗の綱引きを行いました。4クラスそれぞれが総当たり対戦し真の勝者を決定します。

今回はクラスのメンバーの半分は最初から綱につき、残りの半分は少し離れたところでスタンバイしています。始めの合図で綱から離れていた半分が走って仲間のところまで行き、最後は力勝負の綱引きになります。始めから綱を引いている人は持久力が必要であり、離れたところからスタートする人は走力が必要とされるので、チーム分けをどうするか各クラスが工夫していました。

結果は、3組の優勝でした。持久力と走力のバランスを上手に分けることができたのが勝因だったようです。

ミニ運動会が大盛況の中で終了し、昼食のためにグラウンドから少し斜面をのぼったところにある「第1キャンプファイヤー場」に移動しました。本来でしたらみんなで和気あいあいおしゃべりしながら楽しいランチタイムなのですが、コロナなので距離をとりながらの“黙食”でした。それでも、自然の中で食べるお弁当はいつにもましておいしく感じられました。

昼食の後は、ミニ運動会の表彰が行われ、学年全員で記念写真を撮りました。

その後はクラスの時間です。1組は食堂の横にある広場で、2組は第2キャンプファイヤー場で、3組はミニ運動会を行ったグラウンドで、4組は第1キャンプファイヤー場の隣にある栗の木広場でスタントの練習をしました。どのクラスも、入念に最後の確認をしていました。

午後3時ころから、第1キャンプファイヤー場に集まってメインイベントのキャンプファイヤーです。井桁に組まれた薪を中心にクラスごとに座っていきます。

横川先生のリードで、全員で「遠き山に日はおちて」を合唱します。井上先生と長谷川先生がギターで伴奏していたのには驚かされました。

1曲歌って雰囲気盛り上がったところで薪に火をつけます。ここで登場したのが安齋瑚々菜さんです。剣道の道着と袴を身にまとい、さながら“鬼滅の刃”に登場してくるキャラクターのようでした。斜面の下からゆっくりと薪に近づき、手にした松明で一気にキャンプファイヤーに点火しました。

キャンプファイヤーに火がつき、みんなで「燃えろよ燃えろ」を合唱しました。ここでも謎の duo ミワ&エリの登場です。実はこの2人、皆さんが帰った後図書室でギターの練習をしていたのですよ。腕前はいかがでしたか？



12月で空気が乾燥していることもあり、中央のキャンプファイヤーは勢いよく燃え始めました。最後まで薪が持たないといけないので、塚本先生と横川先生が水を掛けながら火の調整をしてきていました。

そんな中、ゲームがどんどん進んでいきます。まず「おもちゃのチャチャチャ」です。これは、“おもちゃ”チームと“チャチャチャ”チームに分かれて、自分の歌詞の所では立ってそれ以外の所では座って歌うゲームです。普通のテンポでも大変なんですけれど、CDのスピードを速くしたり遅くしたりするので思うように立ったり座ったりができません。最後は、みんなで息を切らせながら倍速で「おもちゃのチャチャチャ」を歌っていました。

次のゲームは「先生が来た」です。リーダーの「〇〇先生が来た」という合図に合わせて、いろいろな先生の特徴的なポーズをするゲームです。「大丸先生が来た」では、腕を組んで怒っているポーズをとります。「隈部先生が来た」では、隣の人と英語で話します。「竹田先生が来た」では、“タブレットの充電器にもたれかかりながら答え合わせをする”なのだそうです。いやあ、生徒って先生方のことをよく見ていますね。

こうして文章にすると何が楽しいのかわからないかもしれませんが、みんなでキャンプファイヤーを見ながら“竹田先生のマネ”をしていると、それだけで爆笑でした。

各クラスのスタンツ（寸劇）が始まりました。最初は2組です。2組はディズニーのいろいろなキャラクターが登場してくる出し物でした。アラジンに扮している生徒やジニーになりきっている生徒、担任の隈部先生はトイストーリーのウディ役で登場しました。最後はライオンキングでしめていました。

次に登場したのが4組です。4組はいくつかのダンスを組み合わせ上手に踊っていました。練習の時から完成度の高いダンスでしたが、本番では練習以上の動きとキレで、見ている他のクラスの生徒をくぎ付けにしていました。



3組はダンスとクイズをコラボさせた出し物を披露してくれました。TikTokで配信されている短めのダンスやNiziUのダンスを上手に組み合わせ、今っぽくまとめていました。事前の準備の様子をちょっとだけ見せてもらいましたが、タブレット等を駆使して情報を集め、キャンプファイヤーにあうようにアレンジしていたのが印象的でした。

最後は1組です。1組は勇者がいろいろな敵キャラと対戦するというパターンでスタンツを仕上げてきました。勇者と敵キャラの対決方法は、“ボールを投げて紙コップで受け取る”であったり“けん玉対決”や“縄跳び対決”などもありました。最終的には勇者が勝利したのだと思います。

職員のスタンツは、「100均で売っている“ビリビリするおもちゃ”本物は誰だ」です。2年生の先生方の中で本当にビリビリするものを持っているのはたった一人です。その人を当てるというゲーム。1回戦は先生方全員我慢している（ほとんどの先生は我慢しているフリ）姿を見て本物

を持っている先生が誰なのか当てます。1回戦は井上先生が本物を持っていたのですが、生徒の皆さんは誰もそれを見抜くことができませんでした。2回戦は、先生方が全員でビリビリしているフリをしました。役者ぞろいの先生方の演技に騙されず、正解の塚本先生を当てることができた生徒が何人かいました。

楽しい時間はあっという間に過ぎてしまうもので、キャンプファイヤーを終える午後5時が近づいてきました。最後は、残しておいた薪をすべて投入して天高く炎を巻き上げながら「台中ダイナマイト」です。2年生全員で「台中ダイナマイト」と叫びながら、ファイヤーを中心にこぶしを突き上げながら時計と反対周りにグルグル回る。それだけです。それだけです。2年生全員の心に残るプログラムでした。きっと成人式などで集まったときに、2年の時のキャンプファイヤーで「台中ダイナマイト」やったよな…なんて思い出すこと間違いなしです。



こうして、盛りだくさんの1日が終了しました。通常2日で行う野外活動をぎゅっと詰め込んだ内容の濃い1日でした。

部活動の大会の結果

◆野球部

3週間にわたってサザンカップが開催されました。

12日(日)には藤ヶ岡中学校会場で2試合が行われました。伊勢原中学校との対戦は1点を争う展開でしたが3-2で勝つことができました。続く藤ヶ岡中学校との対戦は投打がかみ合い6-3で勝利しました。

19日(日)には鶴沼中学校会場で2試合が行われました。川崎の西中原中学校と鶴沼中学校との対戦でしたが、残念ながら2試合とも負けてしまいました。

26日(日)には本校で2試合しました。横浜の岡津中学校に1-0で勝ちましたが、湘南台中学校には5-10で敗れ、結果は31校中10位でした。

県内の強豪校が参加する大会で10位に入ることができたことは、部員たちにとって大きな自信につながったと思います。

◆サッカー部

12月4日(土)に湘南大会が行われました。対戦相手は大庭中学校です。鶴が台中学校のイレブン、前半から堅い守りで大庭中学校の猛攻を防ぎましたが、試合終了の直前に相手に1点決められ、これが決勝点となり敗れてしまいました。

ブロックをつくって相手の攻撃を守ることはできるようになっていますので、次は守りから攻撃に切り替えるところに磨きを掛ければ、安定して勝ち進むことができるチームになりそうです。

◆男子ソフトテニス部

12月18日(土)に1年生大会が行われました。鶴が台中中学校会場でしたので、ホームアドバンテージを発揮し選手たちはとても頑張りました。結果は市内8位になることができました。

◆女子ソフトテニス部

12月18日(土)に松浪中学校において1年生大会が行われました。県大会に出場しているペアを中心に危なげなく勝ち進み、市内大会で優勝することができました。

◆剣道部(女子)

12月19日(日)に六会中学校で湘南大会が行われました。団体戦では初戦で鶴沼中学校と対戦し惜しくも敗れてしまいました。個人戦には2年生の安齊さんが出場しました。くじ運が悪く1回戦の相手は優勝候補の選手で、善戦しましたが残念ながら1回戦で敗退してしまいました。